

(様式 1)

令和 6 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立東吾嬬小学校
校長名	藤村 雅彦

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・国語は 2 年生から 6 年生まで全学年が全国平均を上回った。・6 年生の英語は、4 年連続で全国平均を上回り、右肩上がりに伸びている。・全学年全教科の 51 観点中 41 観点が目標値を上回り、昨年の 38 観点より伸びた。	<ul style="list-style-type: none">・国語で 2 観点、算数で 5 観点が全国平均を下回り、昨年の同 1 観点、3 観点より下がった。・4 5 6 年の理科は、全国平均でみると、昨年度と同じ結果であった。・全学年全教科の 51 観点中 36 観点が全国平均を上回ったが、昨年の 37 観点より下がった。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・「朝食は毎日食べていますか」「朝は自分で起きていますか」等の生活習慣が全国平均を越え、良好だった。(全学級で 9 割達成)・「テストの間違い直し」「授業や日常生活の中で、不思議や疑問に思ったことを調べる」等の学習意欲が全国平均を越え、良好だった。(全学級で 8 割達成)	<ul style="list-style-type: none">・「学校の授業以外で、週に何日勉強しているか」「予習や復習をしているか」等の学習習慣は全国平均を下回った。(全学級で 3 割達成) 生活習慣と学習意欲の高さを、この学習習慣にも反映させたい。・「テストの間違い直し」を、全校で実践していく。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・子供たちはよく挨拶をしている。各学級で授業規律が保たれ、学習に取り組んでいる。・国語は語彙力を増やす MIM を活用した指導や、テーマ作文、要約の指導効果が出ている。・昨年度の墨田区研究協力校の成果を引き続き日常の指導に活かし続けていく。	<ul style="list-style-type: none">・記述式の解答に課題があるため、制限や条件を意識して文章を書く機会を設定する。また、学習した内容をアウトプットする機会(振り返り等)を充実させる。・今年度の校内研究で、「個別最適な学び」と「共同的な学び」を研究し、指導に活かす。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学校全体での組織的取組

- ・ 昨年度の学力向上プランの実践で成果を上げた取組を、今年度も継続して実践し工夫する。
 - ① 1・2年生 → 語彙力を増やすための定期的なMIMを活用した授業
 - ② 3年生 → テーマを決めた200字程度の作文。音読の宿題の徹底。
 - ③ 4年生 → 振り返りシートやミライシート等の活用。前学年までの復習の徹底。
 - ④ 5年生 → 国語科での要約学習。理科研究を活かし、問題解決の過程を充実させた学習。
 - ⑤ 6年生 → 資料読み取りと話し合いでの意図的な授業展開。基礎基本学習の徹底。
- ・ 令和6年度の区研究協力校発表での生活科・理科指導の成果を活かし続ける。問題解決学習の授業展開や「東吾婦グリーンアドベンチャーマップ」の実践は継続し深めていく。
- ・ 授業や行事後には、学年に応じた「振り返り」の時間をとり、アウトプットの機会を充実させる。

(2) 教員の授業力・指導力向上

- ・ 校内研究において、「個別最適な学びと協働的な学びの実践を目指す授業づくり」を研究主題として、全教科の指導を通して、目指す児童像に迫り、確かな学力の向上を図っていく。
- ・ 毎月の自主研修会、学年会等の校内OJTを着実に実施する。そこで、各教員の強みや専門性を活かした指導法を互いに学び合い、全体で共有し、実践できるようにする。
- ・ 校内での研究授業や授業観察は、教員が互いに見合い、よさを共有し、自己の実践に活かせる機会とし、実践力を高める。
- ・ 区小研や教師道場、各種研修会等で学んだことは、自己の実践を通じて、校内に還元していく。また、学年会やOJT場面で伝え合い、よい実践を広め共有し、相互に力を高めていく。

(3) 保護者や地域・外部団体と連携した取組

- ・ 「生活リズムチェック」等の望ましい生活習慣を継続する実践を家庭と連携することで、子供たちの生活の安定と学習環境の維持・向上を図る。
- ・ 本校の児童の課題とその改善策について、学校で取り組むこと、家庭学習等の家庭・地域で取り組んでいただきたいことを伝え、学校と保護者・地域とが連携して子供たちの学力向上を図る。
- ・ 学校支援ネットワークの出張授業等を有効活用し、外部団体と連携した実践的な取組を今後も充実させる。

3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・ DE層の割合を減少。
- ・ AB層の割合の増加。
- ・ 理科や算数の学力のさらなる向上。